

やさしくかしくたくましく

野沢小学校 学校だより No.6

令和7年10月21日

学校長 松本 隆

TEL 0267-62-0109

体育祭説明会を開催しました

10月14日(火)に体育祭説明会を開催しました。来校やオンラインにて多くの方にご参加いただきありがとうございました。学校だよりや体育祭通信でも、学校の取組の背景や意図、内容についてお伝えいたします。

【社会の変化】

本年度より、「子どもの自信が育つ野沢小」を目指す学校像に位置付けた「やかたプロジェクト」に取り組んでいます。行事の内容を見直し、日頃の授業の延長上に位置付けたのもプロジェクトの一環となっております。

このような教育改革に取り組んでいる背景には、「社会の変化」に伴い、子ども達につける力(資質・能力)が変化してきていることがあります。2016年に内閣府の第5期科学技術基本計画において、未来社会の姿として「Society5.0」が提唱されました。※「動画で分かる Society5.0」<https://youtu.be/NpK08gtYihw>

第1章 Society 5.0の目指すもの

1. 人類社会の発展

情報社会の次の段階へ

Keidanren
Policy & Action

- 人類は「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」「情報社会」と発展してきた。
- 今、デジタル革新(デジタル・トランスフォーメーション)をきっかけに第5段階の新たな社会(Society 5.0)への変革のときを迎えている。

第1章 Society 5.0の目指すもの

3. Society 5.0とは

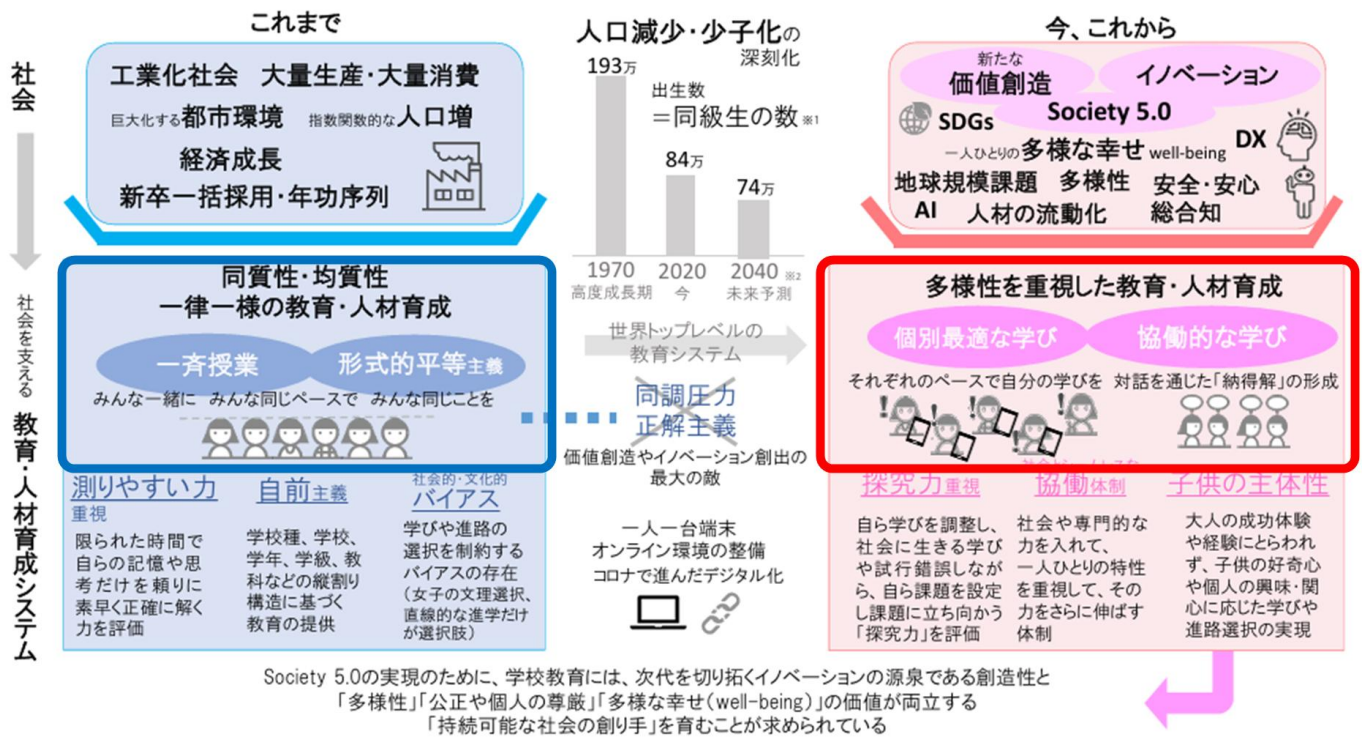
Society 5.0は「創造社会」

Keidanren
Policy & Action

- デジタル革新を人々の多様な生活や幸せの追求のために活用すべき。
- 今後、人々には世の中を変える「想像力」と「創造力」が必要。
- Society 5.0とは創造社会であり、「デジタル革新と多様な人々の想像・創造力の融合によって、社会の課題を解決し、価値を創造する社会」である。

Society 5.0





(出典)※1 令和2年(2020)人口動態統計 ※2 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」における出生中位・死亡中位仮定による推計値。

「Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」より

【教育の変革期】

今から約150年前の明治時代(Society3.0 工業社会の時代)に、富国強兵政策の一環として「学制」が公布され、集団での教育と標準化された教科書による授業スタイルといった今の学校システムの基礎が確立されました。「学制」の主なねらいは、国民の知識水準を向上させ、国家の近代化と産業の発展を推進することでした。

時代や社会が変化しているにも関わらず、学校での授業風景はほとんど変わらずに現在に至っています。平成29年に改訂された学習指導要領では、子供たちが未来社会を切り拓くための「資質・能力」の育成を重視し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を求めており、学校教育の在り方を変えていくことが示唆されました。

このように、これまでの教育では「同質性・均質性」が求められ、一律一様の(みんな一緒に同じことをやる)教育が行われてきましたが、人口減少や少子高齢化などの諸課題や社会の変化に伴い、多様性を重視した(それぞれのペースで自分の学びをする)教育への変革が求められるようになってきました。

これからの社会は「創造社会」であり、デジタル革新と多様な人々の想像・創造力の融合によって社会の課題を解決し、価値を創造する社会へと変化しているため、学校教育においても「探究」「協働」「主体性」を重視した活動への転換が求められている。

【野沢小の挑戦】

このような背景があり、野沢小学校では、目指す子どもの姿を「自分の考えで一步踏み出す子ども」と設定し、子ども達が他者との関わりや対話を通して、主体的に課題を解決したり、新たな取組を始めていくために行動したりする活動を重視しています。

今週行われる「体育祭」についても、授業の延長上に位置付けることで、子ども達が「課題を解決する」活動



明治時代の授業風景

※港区教育委員会HPより

や「自分の考えで工夫して創り出す」活動を取り入れられるよう、予め授業の計画を立てて取り組んできました。従来の「運動会」では、「決められた型や正解のある動き」を教師が教え込み、子どもたちが受動的に活動する場面が多くありました。また、完成度を高めるための練習時間が多くなってしまい、結果として授業時数の増加や、本来扱うべき授業内容に十分時間をかけられなくなってしまうという課題もありました。

【体育を中心とした授業改善】

本年度より取り組んでいる「やかたプロジェクト」には、これからの時代に求められる力（資質・能力）の育成を目指すとともに、教育観の転換や教師の力量向上、働き方改革の推進についても含まれています。これまでと違った取組を行うことで様々な課題が生まれてきます。私たち大人も、対話を通してそれらの課題を解決していくことが必要です。そして、一つ一つの課題を解決していくことで、新たな価値が生まれていきます。



対話しながら構想を練る児童

本年度の体育祭は、野沢小の新たな挑戦の一つです。授業研究についても、「体育一教科」に絞り、全職員が「探究」「人との関わり」をキーワードとして体育の授業づくり取り組んでいます。子ども達も、はじめは何をしてよいか分からず困っていたり、話し合いが進まなかったりしている姿も見られました。このように上手く進まないことで「課題」が生まれ、それらを解決する活動を繰り返し行っていくことが「探究」に繋がってきます。教師が様々な手立て（ワークシートやヒントカード、活動を小分けにする等の仕組み）を講じながら、子ども達が活動に繰り返し取り組むことで自然と対話が増え、楽しみながら新たな工夫や動きが次々と生まれてくるようになっていきます。

【体育祭観覧の観点】

体育祭当日は、「これまでに取り組んできた過程」を想像しながら、子ども達の表情にも着目してご観覧いただければありがたいです。体育祭通信や学年通信等でも取り組み内容をお伝えしています。また、当日は体育館にもこれまでの活動で使用した模造紙等も掲示を予定しています。お子さんにもどんなことを意識して取り組んでいるのか聞いていただき、新たな体育祭への取組についてご理解とご協力いただけると幸いです。

合唱部 SBC こども音楽コンクール 東日本優秀演奏発表会進出決定！

合唱部の子ども達は、本年度も日々の練習に主体的に取り組み、演奏に磨きをかけています。NHK 合唱コンクール（N コン）では、東信地区大会で「金賞」、続く長野県大会でも「金賞」を受賞し、県の代表として関東甲信越大会へ出場し「銅賞」を受賞しました。コンクール当日は、早朝から集まって練習をし、長距離を移動した後にステージで発表となります。ステージ上では、一人一人が素晴らしい表現を披露して素敵な歌声を演奏していますが、それに至るまでにはベストコンディションで発表するための体力と体調管理が必要です。

10/5に行われたSBCこども音楽コンクール上田大会では、合唱部全員でステージに立つことができ、本来持っている力を十分発揮して「優秀賞」を受賞しました。長野、上田、伊那の地区大会で優秀賞を受賞した学校から、12月に東京都で行われる東日本大会に進出する学校が選ばれます。10/18に選考結果が発表され、見事東日本優秀演奏発表会への進出が決まりました。12月21日の発表会でも素敵な演奏ができるよう、みなさん応援よろしくお願いします。

子ども SOS そうだんフォーム「タッチ TOUCH」の紹介

学校のタブレット端末から、相談フォーム「タッチ」を使うことができます。困っていること、苦しいことは一人で抱え込まずに、家族や先生に相談することが大事です。どうしても誰にも伝えられなくて困っている人は、この相談フォームを活用することで、相談したい先生や教育委員会の人と話をする場を設けます。

また、佐久市教育委員会の「相談室（62-2918）」に、直接電話で相談することもできます。

児童生徒のみなさん。誰にも伝えられなくて
一人で悩んでいることはありませんか？

子どもSOSそうだんフォーム

タッチ TOUCH

困っていること、苦しいことは、家族や先生に相談することが大事。

でも、どうしても誰にも伝えられなくて、困っている人は迷わずに**タッチ！**

1

子どもSOSそうだんフォーム 「タッチ(TOUCH)」って何？



つらい気持ちを誰に相談したらよいのかわからないときにSOSを出して、誰かに頼ってほしいという思いからつくりました。みなさんの使っているクロームブックから入力できます。

2

どんなときに つかいますか？



困っていることやつらいことがあるけれど、誰にも相談できないときや聞いてほしい人（担任の先生、担任以外の先生、保健室の先生、スクールカウンセラーや、教育委員会の相談員の先生など）がいるけど、勇気をだして言えないときです。

3

何を打ち込みますか？



誰のことを相談したいか、どんなことを相談したいか、誰と相談したいかなどについてチェックを入れて、自分の名前を入れるだけです。
※秘密は守られます。

4

送信するとどうなるの？



佐久市教育委員会で、あなたの「相談がしたい」という思いを、あなたが相談したいと思っている先生や相談員の先生などに伝えます。あなたの思いを受け止めて、連絡の準備をしますので少しお待ちくださいね。

5

どうやってつかうの？

クロームブックの左下のスタートアイコンの中にある「佐久の鯉太郎ミニ」のアイコンを「タッチ」するとそうだんフォームにつながるよ。



佐久市教育委員会の「教育相談」では、児童生徒のみなさんからの電話相談も受け付けています。相談員の先生が「電話」で悩みを聞いてくれます。

相談先はこちら

- ◎佐久市教育委員会 教育相談室 ☎ 0267(62)2918
平日(月～金曜日) 8:30～18:00 (祝日・年末年始を除く)
- ◎チャイルドライン ☎ 0120-99-7777
・毎日16時から21時／通話無料
- ◎「24時間子供SOSダイヤル」 ☎ 0120-0-78310
・毎日24時間いつでも／通話無料